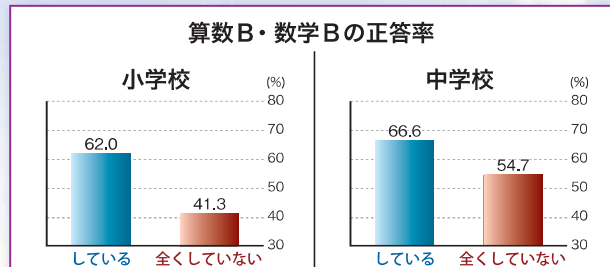


家庭と学校が協力して、子どもの「生きる力」を育んでいきましょう

家族との 関わり

Q 「家の人と学校での出来事について話をしますか。」
と「算数B・数学Bの児童生徒の正答率」との関係

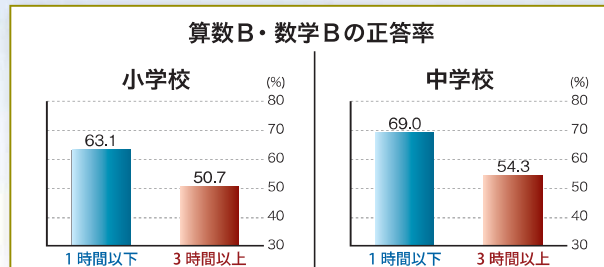


家の人と学校での出来事を話す子どもほど、正答率が高い。
(国語A・国語B、算数A・数学Aも同様です。)

子どもと学校であった出来事について話をしましょう。

望ましい 生活リズム

Q 「テレビゲームをする時間」と「算数B・数学Bの児童生徒の正答率」との関係

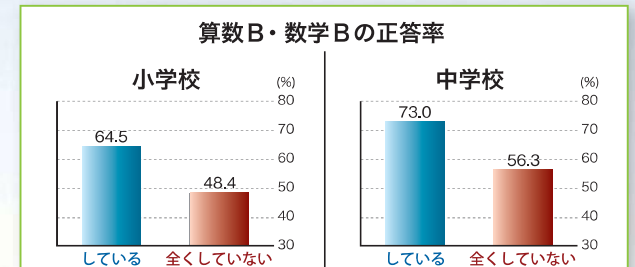


テレビゲームを長時間する子どもほど、正答率が低い。
(国語A・国語B、算数A・数学Aも同様です。)

子どもと時間の使い方に関して話をしましょう。

家庭学習の 取り組み

Q 「家で、自分で計画を立てて勉強をする児童生徒」と「算数B・数学Bの児童生徒の正答率」との関係



計画的に勉強する子どもほど、正答率が高い。
(国語A・国語B、算数A・数学Aも同様です。)

子どもと勉強を始める時間を決めましょう。



チェック
してね

- 毎日、子どもと学校であった出来事などについて話をしていますか。
- 「早寝」「早起き」「朝ごはん」は習慣化していますか。
- テレビやゲーム、メールなどの利用についてルールや時間は決めてありますか。
- 子どもが勉強を始める時間や、家で行う学習内容を知っていますか。

家庭と学校が協力して、子どもの学力を考えていきましょう。

浜松市の子どもの良いところをお知らせします。～肯定的に答えた割合が高かった児童・生徒質問紙の回答から～

○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
(小学生：96.7% 中学生：94.5%)

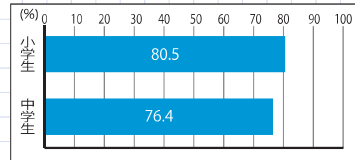
○人の気持ちに分かる人間になりたいと思いますか。
(小学生：94.3% 中学生：95.9%)

○人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
(小学生：93.9% 中学生：94.9%)



家族との関わりを大切にしましょう。

Q 「家の人と学校での出来事について話をしますか。」
(肯定的に答えた児童生徒の割合)

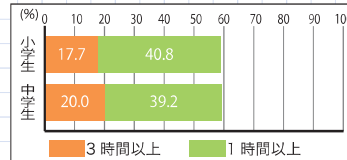


多くの子どもが、家の人に学校での出来事について話をしています。

表面の「家族との関わり」のグラフを見ると、子どもにとって家族との関わりが、心の安定を生み、学力の定着によい影響を及ぼしていることが分かります。学校での出来事について親子で話をしたり、運動会などの学校行事を参観したりするなど、これからも子どもとの関わりを大切にしながら、成長を見守りましょう。

望ましい生活リズムを考えましょう。

Q 「普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか。」
(3時間以上する、1時間以上すると答えた児童生徒の割合)

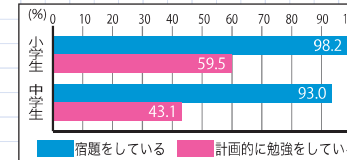


約60%の子どもが、毎日1時間以上テレビゲームをしていることが分かります。

毎日を気持ちよく元気に過ごすために、「早寝・早起き・朝ごはん」を合い言葉に、規則正しい生活リズムを心掛けましょう。また、年齢に応じた「遊び」と「学習」の時間を、子どもに考えさせることも大切です。家庭内で「遊び」と「学習」に関するルールや時間を確認してみましょう。

家庭学習の取り組みを考えましょう。

Q 「家で、宿題をしていますか。」と「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。」(肯定的に答えた児童生徒の割合)



家で、宿題をしている子どもの割合は高いです。しかし、計画的に勉強をしている子どもの割合は高いとは言えません。

家で宿題をすることは、家庭の見届けもあって定着しています。漢字の書き取りや計算ドリルなどの反復学習だけでなく、授業の予習や復習など計画的に学習することが、学力向上につながります。親子で同じ問題を解くなど、子どもと関わりながら、勉強を始める時間を決めたり、学習内容を確認したりしてみましょう。

【教科に関する調査】

(平均正答率(%))

小学校 (6年)

教科	国 語		算 数	
	A	B	A	B
浜松市	71.0	58.9	79.2	59.2
静岡県	72.8	58.4	79.4	58.5
全国	72.9	55.5	78.1	58.2

中学校 (3年)

教科	国 語		数 学	
	A	B	A	B
浜松市	81.5	53.9	71.1	64.4
静岡県	80.8	52.5	70.9	63.7
全国	79.4	51.0	67.4	59.8

A区分…主として「知識」に関する問題
B区分…主として「活用」に関する問題

国 語

目的に応じて考える力が向上

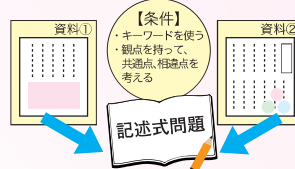
無解答率が大幅に減少。小学校国語B、中学校国語A、Bについては、全国平均を上回る。

言語の問題に課題

主にできなかったもの
小学校「祝う」(漢字の書き) 「五十歩百歩」(故事成語の意味)
中学校「半径」(漢字の書き) 「急がば回れ」(ことわざの意味)

条件に基づいて思考することに課題

条件に基づいて資料から情報を取り出したり、考えを書いたりすることが苦手。



できるだけ漢字やことわざなどに触れたり、読書量を増やしたりしましょう。

算数・数学

全て全国平均を上回る。特に、中学校は大きく上回る。

分数や四則の混合した計算、文字式の計算などの正答率が約8割。記述問題の正答率も向上。

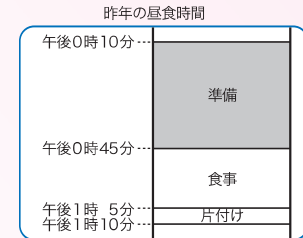
情報を整理し、表現することに課題

情報を適切に整理し、相手に分かるように説明したり、記述したりすることに課題。

<宿泊学習の昼食時間問題>

H26小学校算数B問題より

「今年も昼食時間は、午後0時10分から午後1時10分までです。昨年より食事の時間を5分間長く、片付けの時間を3分間長くすることにしました。準備の時間を何分間にすればよいですか。(右図参照)」



時間と時刻の情報を整理し、必要な時間を求めることができていない。

日常や社会の中で、使われている算数・数学を見つけ、生活や学習に活用していきましょう。